

普及活動情勢報告（平成30年5月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

酒米栽培講習会

～「吟の夢」新規参入者の栽培技術の定着に向けて～



熱心に耳を傾ける生産者

4月26日、中央西農業振興センターにて「吟の夢」の栽培に新規参入する生産者4戸の栽培技術の定着による栽培面積の拡大を目的に「酒米栽培講習会」が開催されました。

農業改良普及課からは、地域版栽培暦を基に栽培のポイントについて説明し、既存生産者から補足説明してもらいました。新規参入者からは「コシヒカリとは植え付け時期や施肥量が違うが大丈夫か?」「病害虫の対策は?」等、熱心な質問がみられました。

農業改良普及課では、酒米の産地化を視野に入れながら、今後、新規参入者の重点指導を行い、順調に「吟の夢」の生産安定を支援していきます。

七色の里営農組合総会

～地域の力で鳥獣対策を～



様々な提案に議論白熱

5月10日、土佐七色の里（集会所）で七色の里営農組合総会が開催されました。組合員6名が参加し、実績と計画を協議しました。組合員からは、「イノシシに柵を壊される。隣接集落には猿の被害もある。」という話が出ました。

農業改良普及課は、鳥獣被害を金網柵で守る・獣を捕獲する重要性を説明し、その結果、鳥獣被害対策専門員を呼んでの講習会開催や幡多地域で行われている鳥獣対策を勉強に行くことになりました。

農業改良普及課は組織や地域活動として、鳥獣被害対策に取り組めるよう情報提供や関係機関と連携していきます。

JAとさし胡瓜部会現地検討会

～高温期、梅雨期に向けた課題、次年度に向けた取り組みについて～



今後の管理について熱心に意見交換する講師と農家

5月16日、キュウリ種苗会社の講師を招き、現地検討会を行いました。ハウス内温度が高くなり曇雨天日が続くなど栽培管理が難しくなる時期に向けて、各ほ場で意見交換を行いました。

樹勢の低下や炭酸ガス施用など講師の意見に対し農家から熱心に質問や意見が出さ、次年度に向けた病虫害防除などの助言をし、有意義な検討会になりました。

黄化えそ病やつる枯れ病など難防除病虫害が目立ってきたため農業改良普及課は関係機関と連携して、次年度に向けた有効な対策を普及、推進していきます。

さらなる生産安定・品質向上を目指そう！
～ネダニ類防除実証ほでJAとさし青ネギ部会現地検討会を開催～



ネダニ防除剤の処理方法を
聞き入る生産者ら

JA とさし青ネギ部会は 5 月 11 日に、集出荷場で販売概況やアザミウマ類防除の基本技術についての座学を行った後、新剤を用いたネダニ類防除実証ほでの現地検討会を開催し、生産者ら 8 人が参加しました。

農業改良普及課は現地ほ場で実証内容や新剤の特徴、青ネギ栽培における基本的な肥培管理を紹介しました。

参加者からは新剤の処理方法や薬害リスク等について質問が出され、今後の活用に関心が伺えました。

今後、農業改良普及課はJA、農薬メーカー、農業技術センターと連携して実証ほの収量調査や薬害確認、ネダニ類寄生率を調査し、生産者へのタイムリーな情報提供を行います。